

別記第1号様式(第2条関係)

芦別市経営復活支援金等支給申請書

令和 年 月 日

芦別市長 荻原 貢 様

住 所
申請者 氏 名

(法人の場合は法人名及び代表者役職氏名)

電話番号 ー

芦別市経営復活支援金等支給条例第13条の規定に基づき、次のとおり関係書類を添えて申請します。なお、申請にあたっては、裏面の「誓約書兼承諾書」のとおり誓約及び承諾をします。

記

1 店舗又は事業所の状況

- (1) 店舗名又は事業所名 _____
(2) 店舗又は事業所の住所 芦別市 _____

2 申請額(該当しないものは記入不要)

- (1) 経営復活支援金(限度額:法人 400,000円、個人 200,000円)
別紙「経営復活支援金申請額計算書」により計算(添付書類は同計算書に記載のとおり)

申請額 円 … A

- (2) 特定飲食店及び飲食店関連事業者支援金(次のいずれかに該当する事業者 200,000円)
ア 特定飲食店(次に掲げるもの全てに該当する飲食店。飲食店営業許可証(写し)を添付)
(ア) 主として料理品をその場で飲食させている
(イ) 営業時間が午前5時から午後8時までの時間帯(営業時間… 時 分 ~ 時 分)
(ウ) 令和3年度において、北海道のまん延防止等重点措置協力支援金を受給していない
イ 飲食店関連事業者(次のいずれかを営む事業者)
(ア) 酒 小 売 業 (酒類販売業免許の通知又は酒類販売業免許証明書(写し)を添付)
(イ) リネンサプライ業 (リネンサプライに関する取引等の事実が確認できる書類(写し)を添付)
(ウ) 食用氷販売業 (氷雪販売業許可証(写し)を添付)

該当する事業(○で囲む) ア・イ 申請額 円 … B

(3) 観光関連事業者支援金

- ア 旅客自動車運送業を営む事業者 (該当事業の許可証(写し)、所有台数がわかるものを添付)
(ア) 大型バス 現に営業の用に供している台数 _____ 台 × 50,000円 = _____ 円
(イ) 中型バス 現に営業の用に供している台数 _____ 台 × 30,000円 = _____ 円
(ウ) 小型バス 現に営業の用に供している台数 _____ 台 × 30,000円 = _____ 円
(エ) タクシー 現に営業の用に供している台数 _____ 台 × 10,000円 = _____ 円

申請額(ア)~(エ)合計 円 … C

(裏面)

イ 旅館業を営む事業者 (旅館業経営許可証(写し)を添付)

客室の数(10 部屋未満 200,000 円、10 部屋以上 50 部屋未満 300,000 円、50 部屋以上 500,000 円)

客室数 _____ 部屋 申請額 円 …D

(4) 飲食店感染防止対策認証取得奨励金 (該当する事業者 50,000 円)

北海道飲食店感染防止対策認証(第三者認証)を取得している飲食店 (認証書(写し)を添付)

申請額 円 …E

申請額合計 A+B+C+D+E = 円

3 振込先口座 (申請者又は店舗名 (事業所名) と同一名義の口座としてください。)

金融機関名		支店等名	
口座種別	普通・当座	口座番号	
口座名義 (カタカナ)			

注1 通帳の写しを添付 (金融機関名、支店名、口座種別、口座番号及び口座名義がわかるページ)

2 法人は、履歴事項全部証明書を添付 (写し可。申請前3か月以内に発行されたもの)

3 個人事業者は、運転免許証、個人番号カード(顔写真の面のみ)、健康保険証の写しのいずれかを添付

誓約書兼承諾書

私は、本申請にあたり、次の内容について誓約及び承諾をします。

- 1 本申請書に記載した内容及び添付書類に虚偽が判明した場合又は申請要件に該当しない状況となったときは、本支援金等の返還に応じます。
- 2 芦別市暴力団排除条例の規定に基づく暴力団又は暴力団関係者の統制下にある事業者ではありません。
- 3 本支援金の支給決定事務の過程で、芦別市から事情聴取、追加資料の提出を求められた場合は協力します。
- 4 令和3年3月31日以前から芦別市内で事業を営んでおり、本申請日以後においても事業を継続する意思があることに相違ありません。
- 5 申請書に記載の情報について、公的機関(税務当局、警察、北海道、保健所等)の求めに応じて芦別市が情報を提供すること、又は芦別市が本支援金の関係事務のため必要な情報を公的機関に確認することを承諾します。
- 6 業種別ガイドラインに基づく感染拡大防止対策を徹底しているほか「新北海道スタイル」の取組みを実践しています。

提出前に、記入誤りは無いか、添付書類の不備・不足は無いか確認してください。